

教材・支援機器活用実践事例

ひらがなの読み・書きに困難さのある児童が、自分で考えて学習できる教育アプリの活用
「教育アプリ『たのしいひらがな』『デイジー教科書』

子どもについて	所属・学年	小学校・特別支援学級（知的障がい）・2学年
	障がい名等	知的障がい 構音障がい
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	○ ひらがなの形の違いは分かるが、読むことが難しい。 ○ 単語や文字を正しく発音することが難しい。 ○ 文字の形の違いがわかり、ていねいになぞり書きができる。
授業について <small>（教材・教具を使用した授業や指導場面）</small>	教科名等	国語
	単元(題材)名	ひらがな
教材・教具・支援機器について	教材・教具 ・支援機器	<p>【名称】 たのしいひらがな</p> <p>【画像】 </p> <p>【名称】 デイジー教科書</p> <p>【画像】 </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">(使い方)</p> <p>どちらもダウンロード後は常に使用できる。</p> <p>「たのしいひらがな」は、ひらがなの「なぞり書き」と簡単なひらがなのゲームを行える。</p> <p>「デイジー教科書」は、登録後、該当児童の本棚に使用したい教材をダウンロードして使用する。文字の大きさや、背景の色、教材を読み上げる速度や間などを児童に合わせて変えることができる。</p> </div>
ねらい・工夫点等	<p>○ 「たのしいひらがな」は、問題や答えや褒め言葉が子供の声で入ったり、文字をなぞると画像が表示されたりするなど、児童が楽しく学習できるつくりになっているので、集中力が切れそうになった時や復習の時間に使用した。</p> <p>○ 「デイジー教科書」には教科書の教材を読み上げる速さや間の取り方を指定できる機能があるので、児童が繰り返しやすい速さや間を調整し、教師と一緒に音読できない時に使用した。</p>	
材料・作成方法等	<p>○ 「たのしいひらがな」・・・レインボーミミズ 350円（無料はあ～た行まで）</p> <p>○ 「デイジー教科書」・・・公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会 無料（登録の必要あり）</p>	
子どもの変容や評価	<p>○ 自分で考えて学習できることで国語の学習に進んで取り組む態度が見られるようになった。個人で課題に取り組む時でも、意欲を失うことなく学習に集中できるようになった。また、教科書の文章を読み上げる速さがゆっくりになったことで、後に続いて読んでみようという意欲が生まれた。</p>	